

伊勢湾周辺地域における弥生墳墓出土の穿孔土器・赤彩土器の機能と地域性

林 順 考古学分野・専門 博士前期課程2年

本報告書では、2019年度フィールド調査プロジェクトによる助成の下で行ったプログラム「東海地域における弥生・古墳移行期の墓域編成原理の変遷についての考古学的研究」の成果について述べる。

弥生時代から古墳時代にかけて築造された墳墓からは、しばしば土器が出土する。こうした土器は墳墓における儀礼行為の痕跡として残されたものと考えられるため、その属性や出土状況に着目することで、儀礼の実態や墳墓築造主体同士の関係性に迫ることが可能となる。特に、今回検討の対象とした穿孔土器、赤彩土器については、他の築造主体との序列化を図るために使用されたという指摘が従来なされてきており、両者とも墳墓という場において被葬者の社会性を表出する機能を有していた可能性がある。しかも、今回フィールドとした伊勢湾周辺地域（三重県域：櫛田川流域～愛知県域：豊川流域）においては、これらが墳墓から出土していること自体は報告されているものの、その全体的な出土状況や属性についてはほとんど整理されていない。そこで本プロジェクトでは、伊勢湾周辺地域を対象とした上で、墳墓の規模や墳形といった遺構的要素も加味しつつ、穿孔土器・赤彩土器が墳墓においてどのような機能を果たし、また伊勢湾周辺地域内における遺跡の地形上の纏まり（＝小地域）ごとにどのような特色を見せるのかについて検討を行った。

今回の調査では、発掘調査報告書に記載されている内容の整理と併せ、土器の肉眼観察による情報（穿孔タイミング、穿孔箇所、穿孔方向、赤彩範囲）の抽出を行い、小地域ごとにそれらの情報を統計化し比較した。具体的には、伊勢湾周辺地域に所在する84遺跡を対象とし、そこから出土した穿孔土器266点、赤彩土器359点についてその属性を整理した（うち、実見した資料については表1参照）。

その結果、穿孔土器・赤彩土器の属性のうち、その存在・多寡と、穿孔方向の複雑性については、多くの小地域において遺構的要素と相関することが明らかとなった。このことは、階層を表示しようとする意図が不動産の遺構においてのみならず、動産の遺物においても表れていることを示すと考えられる。従って、穿孔土器・赤彩土器が小地域内において階層表示として使われていた可能性を指摘することができる。

また、穿孔土器・赤彩土器の諸属性を小地域ごとに比較していくと、例えば赤彩土器の器種構成の違いなどで顕著であるが（図1）、小地域ごとの差異が見出せる場合もあることが分かった。しかし、こうした差異は伊勢湾周辺地域全体の傾向を大きく逸脱するものではなく、単なる割合の違いによるものであるため、基本的な儀礼についての認識は伊勢湾周辺地域全体で共有されながらも、実際の儀礼に当たっては各小地域の裁量に委ねられたと考えられる。

一方、調査を進める中で、複数穿孔土器（図2）や特殊な技法を示す土器（図3）など、特定の小地域のみからしか出土しない土器も存在することが判明した。このことから、穿孔土器・赤彩土器は小地域内のみならず、小地域間において差異化・序列化を図るために使用される場合もあることが明らかとなった。

以上のことから、穿孔土器や赤彩土器は伊勢湾周辺地域全域における共通した認識の枠組みのもと、小地域内・小地域間において序列や階層差を示す儀器として使用されていたと結論付けることができる。

また一方で、穿孔土器の属性を抽出する際には、穿孔タイミングや穿孔方向を区分する明確な基準が必要であると考え、プロジェクトの経費の一部を使って穿孔実験を行った。その結果、各調査機関において実見した穿孔土器と同様の痕跡を再現することに成功し、穿孔土器の区分基準を明確化することができた。

表1 肉眼観察を行った土器

遺跡名	遺跡の所在地	資料保管機関	調査点数	調査内容
一本松遺跡	岐阜県大垣市	大垣市教育委員会	3	穿孔土器の実見・観察
東町田遺跡	岐阜県大垣市	大垣市教育委員会	1	穿孔土器の実見・観察
荒尾南遺跡	岐阜県大垣市	岐阜県文化財保護センター	41	穿孔土器の実見・観察
野口・北出遺跡	愛知県稲沢市	稲沢市教育委員会	6	穿孔土器、赤彩土器の実見・観察
朝日遺跡	愛知県清須市	愛知県埋蔵文化財調査センター	13	穿孔土器の実見・観察
大城遺跡	三重県津市	津市教育委員会	5	穿孔土器の実見・観察
倉谷遺跡	三重県津市	津市教育委員会	3	穿孔土器、赤彩土器の実見・観察
菟上遺跡	三重県四日市市	三重県埋蔵文化財センター	2	穿孔土器の実見・観察
山村遺跡	三重県四日市市	三重県埋蔵文化財センター	2	穿孔土器の実見・観察
小牧北遺跡	三重県四日市市	三重県埋蔵文化財センター	1	穿孔土器の実見・観察
下之庄東方遺跡	三重県嬉野町	三重県埋蔵文化財センター	2	穿孔土器の実見・観察
曾祢崎遺跡	三重県明和町	三重県埋蔵文化財センター	2	穿孔土器の実見・観察
コドノB遺跡	三重県明和町	三重県埋蔵文化財センター	3	穿孔土器の実見・観察
寺垣内遺跡	三重県明和町	明和町教育委員会	3	穿孔土器、赤彩土器の実見・観察

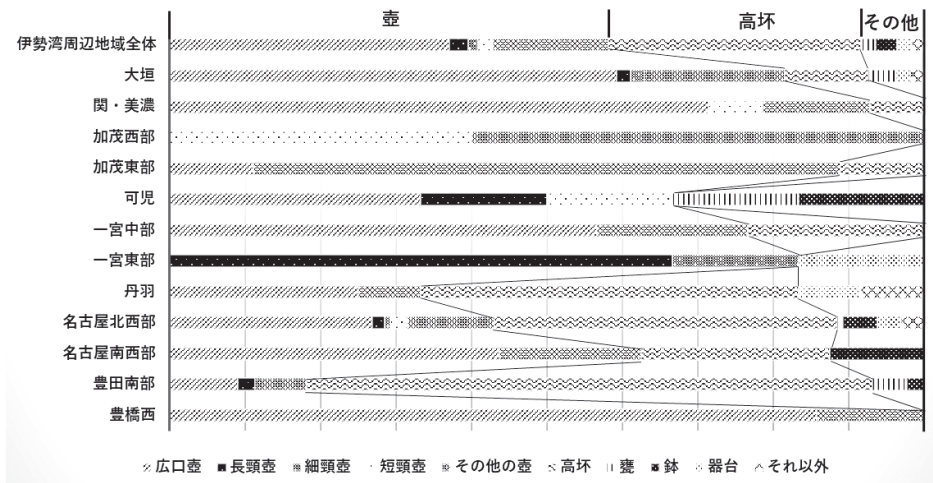


図1 赤彩土器の器種構成



図2 複数穿孔土器
(荒尾南遺跡出土、岐阜県文化財保護センター所蔵)



図3 焼成後引っ掻き穿孔を行った土器
(朝日遺跡出土、愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵)

謝辞 今回の調査につきましては、以下の調査機関・担当者の方々に様々な便宜を図っていただくとともに、多くのご教示を賜りました。末筆ではありますが明記して感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

愛知県埋蔵文化財調査センター・稲沢市教育委員会・大垣市教育委員会・岐阜県文化財保護センター・津市埋蔵文化財センター・三重県埋蔵文化財センター・明和町教育委員会

磯貝龍志・加中雅章・熊崎 司・城ヶ谷和広・高田康成・田中俊輔・原田 幹・日野幸治・味噌井拓志・三宅知世・村木一弥